



電話による Cisco Unity Connection の操作

- [3 ページの「Connection のカンバセーションについて」](#)
- [4 ページの「Connection のカンバセーションでの電話のキーパッドの使用」](#)
- [4 ページの「Connection のカンバセーションでのボイス コマンドの使用」](#)

Connection のカンバセーションについて

電話で Cisco Unity Connection にアクセスすると、Connection のカンバセーションが再生されます。メッセージの送受信、グリーティングの録音、個人設定の変更を行う際には、録音された指示とプロンプトに従います。Connection へのアクセスには、任意の電話を使用できます。

電話を介して Connection を使用方法には次の 2 つがあります。

電話のキーパッド	電話のキーパッドでキーを押します。 両手を空けておく必要がない場合、雑音が多い環境にいる場合、またはより多くの Connection 機能オプションを使用したい場合は、このオプションを使用します。
ボイス コマンド	電話の受話器、ヘッドセット、またはスピーカーフォンに向かって発声します。 両手を空けた状態で Connection システムにアクセスする必要がある場合は、このオプションを使用します。



(注)

一部の TTY 電話（テキスト電話）には、適切なトーンを送信する機能が備わっていません。その場合、TTY ユーザは Connection のカンバセーションを操作する際に、電話のキーパッドを使用することが必要になる場合があります。

Connection のカンパセーションでの電話のキーパッドの使用

Connection のカンパセーションにはいくつかのバージョンがあり、それぞれ Connection メニュー オプションとキーパッドのマッピングが異なります（たとえば、あるバージョンではメッセージを削除するのに 3 を押しますが、別のバージョンではメッセージを削除するのに 7 を押すことがあります）。

ユーザに対して再生されるカンパセーションのバージョンは、Connection 管理者が決定します。通常は、ユーザが使い慣れているキーパッドマッピングが設定されたカンパセーションを管理者が選択します。どのカンパセーションを使うよう設定されているかについては、Connection の管理者に問い合わせてください。

カンパセーションのキーパッドマッピングについては、「[Cisco Unity Connection の 電話メニューとボイス コマンド](#)」の章を参照してください（この章の「ボイス コマンド」の項に表示されているキーは、音声認識オプションが使用可能になっていて、ユーザがボイス コマンドを使用している場合にだけ適用されます）。

Connection のカンパセーションでのボイス コマンドの使用

Connection には、Connection のカンパセーションで行う動作を音声で伝えることができる音声認識オプションがあります。ボイス コマンドは直感的であり、使いやすく、大部分のボイス メッセージ タスクに利用できます。

使用できるボイス コマンドについては、[Cisco Unity Connection 電話インターフェイス ユーザ ガイド](#)の手順を参照してください。また、任意の時点で「Help」と発音すると、各メニューについての詳細情報を入手できます。利用可能なボイス コマンドのリストについては、[105 ページの「ボイス コマンド」](#)を参照してください。

メイン メニューで、「Tutorial」と発音すると、ボイス コマンドを使用した作業に関する一連のチュートリアルにアクセスできます。

カンパセーションの大部分においては、コマンドを使用することで割り込むことができます。システムのプロンプトが終了するまで待つ必要はありません。また、実行する作業を正確に把握している場合は、タスクを完了するためにメニュー階層を移動する必要はなく、複雑なコマンドを音声で伝えることができます。たとえば、メイン メニューで「Send a private and urgent message to Tina Chen」と発音することができます。

コマンドを音声で伝えるにくい場合や、システムでコマンドが認識されない場合（雑音の多い環境で携帯電話を使用している場合など）は、一部のコマンドを使用するためのキーパッドオプションのセットが音声認識オプションによって提供されます。すべてのメニューに利用できるキーパッド オプションを聞くには、0 を押すか、「Touchtone command Help」と発音します。

一時的にボイス コマンドを使用する代わりに電話のキーパッドだけを使用する場合は、メイン メニューで「Touchtone conversation」と発音するか、9 を押します ボイス コマンドを使用する方法に戻すには、電話を切り、Connection に再度ログオンします。

音声認識オプションが使用可能かどうかについては、Connection 管理者に問い合わせてください。